

浦安ドキュメンタリーオフィス 設立 20 周年記念上映会 パレスチナ・イスラエル映画特集



2026.
3/22(日)
J:COM 浦安音楽ホール
4F ハーモニーホール

- 10:00 『手に魂を込め、歩いてみれば』
- 12:15 『ネタニヤフ調書 汚職と戦争』
- 14:30 『壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記』
★上映後、川上泰徳監督によるトーキイベントを予定
- 【料金】 1回券 一般・シニア・学生 999円 サポーター会員 799円 高校生以下 500円
- 【主催】 浦安ドキュメンタリーオフィス urayasu-doc.com

上映作品

『手に魂を込め、歩いてみれば』

セピデ・ファルシ/2025年/フランス・パレスチナ・イラン/113分



— 2025 カンヌ国際映画祭 ACID 部門正式出品

廃墟のガザで撮影を続けるフォトジャーナリストと
彼女を見守るイラン人監督——
1年にわたるビデオ通話で紡がれた 比類なきドキュメンタリー

2025年4月にイスラエル軍によるガザ空爆で命を落としたパレスチナ人の若きフォトジャーナリスト、ファトマ・ハッスナーと、彼女を見守り続けたイラン出身の映画監督セピデ・ファルシの1年にわたるビデオ通話を記録したドキュメンタリー。イスラエルによるガザ攻撃が続いている2024年、イラン出身の映画監督セピデ・ファルシは、緊急に現地の人々の声を届ける必要性を感じていた。しかし、ガザは封鎖されており行くことは出来ない。そこで、知り合ったガザ北部に暮らす24歳のパレスチナ人フォトジャーナリスト、ファトマ・ハッスナーとのビデオ通話を中心とした映画の制作を決意する……。

『ネタニヤフ調書 汚職と戦争』

アレクシス・ブルーム監督/2024年/イスラエル・アメリカ/115分



©2024 BNU PRODUCTIONS LLC ALL RIGHTS RESERVED.
— 第 97 回アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞
ショートリスト選出

本国では上映禁止！イスラエル首相ベンヤミン・ネタニヤフが存在を消したかった衝撃のドキュメンタリー！

いまなお終わりの見えないガザ・イスラエル紛争。この紛争のキーマンとされるのがカリスマ的なリーダーシップを持ちながらも、強硬的な政治姿勢で物議を醸すイスラエル首相ベンヤミン・ネタニヤフだ。しかし、彼が在任中に刑事起訴された史上初のイスラエル首相であることを国外の多くの人々は知らない。2017年、彼の汚職捜査の過程で秘密裏に制作チームにリークされた未公開の警察尋問映像には、メディアや財界との贈答や利益供与の実態が記録されていた…。
本国では上映禁止、親イスラエルの米国でも劇場公開されていないにも関わらず、国際的に注目を集め、昨年度のアカデミー賞ショートリストに選出されるなど大きな話題を呼んだ。

『壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記』

川上泰徳監督/2025年/日本/104分



— 第 31 回 平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞

「なぜこの戦争が続くのか。」
10.7 後のパレスチナ・イスラエルを この目で確かめたいと思った—

外国人ジャーナリストがガザに入ることが困難な中、2024年7月、同じく「壁」で分離されたパレスチナ・ヨルダン川西岸地区に、中東ジャーナリスト・川上泰徳が取材に入った。今年3月に米国アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞を受賞した『ノーアザー・ランド 故郷は他にない』でも舞台となったマサフェル・ヤッタにも入り、イスラエル軍による攻撃・破壊やユダヤ人入植者の暴力の激化を目の当たりにする。一方、イスラエル側では国民の多くが「壁」の外側の惨状に目を向かない中、兵役を拒否する三人の若者がいた。中東を見つめつけたジャーナリストがいま伝えたい、パレスチナとイスラエルの“現在”とは——。

タイムスケジュール

開催概要

- 09:40 開場
10:00 『手に魂を込め、歩いてみれば』(113分)
12:15 『ネタニヤフ調書 汚職と戦争』(115分)
14:30 『壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記』(104分)
★上映終了後、川上泰徳監督によるトークイベントを予定
16:40 終了予定

*各作品入替制となります

【日程】
2026年3月22日(日)
【会場】
J:COM 浦安音楽ホール 4F ハーモニーホール
(浦安市入船1丁目6-1 / JR 新浦安駅南口徒歩1分)
*専用駐車場はございませんので、できるだけ公共交通機関をご利用ください
【料金】 1回券(各作品入替制となります)
一般・シニア・学生 999円 サポーター会員 799円
高校生以下 500円